



中学3年生の息子が学校から右の資料を持って帰ってきました。「知っておきたい年金のはなし」という資料で日本年金機構が発行しています。中を開いてみると「年金とは世代と世代が支え合う制度」だったり、「年金という思い浮かべるのは老後に給付される老齢年金で、その他に障害年金や遺族年金という制度もあって、とても保障が厚い」というような大人でも詳細を即答できないような難しい内容も入っていました。私の子供の頃はこのような勉強を学校でやった記憶が無かったのでとてもありがたいと思いました。

息子は私に尋ねました。「よくテレビで“将来の子供達は年金をもらえない”と言っているけどホントなの？」と。私は「確かに今の金額のようにもらえないかもしれないけど、国がやっている制度だから全くもらえないというのは考えられないね。でも、年金だけではおそらく生活がかなり苦しくなるだろうから、今のうちから準備（貯蓄）をしておく必要があると思うよ。」と答えました。

そういう会話をいつか子供達とやりたいと思っていた私は今がチャンスとばかりにお金の勉強会を急遽開くことにしました。その会話を隣で聞いていた小学6年生の娘も参加することになりました。

仕事柄、皆さんに保険商品や投資信託の仕組みを日々伝えておりますが、子供に伝える難しさを改めて痛感しました。銀行とは・・・の話から始まり、税金、金利、保険、株、債券、投資信託、複利、会社の仕組み等々。世の中の仕組みを浅く広く伝えていきました。初回だったので内容の10%でも理解してくれていたら大成功だと思います。なかでも株の話の時にあまり例話が思いつかず苦戦してしまいました。

一番興味を示していたのは投資信託の話です。私は子供の名義で証券会社に口座を作っており、生まれたときから十数年、投資信託で運用をしてあげてました。お年玉をもらった際に使わなかったお金やお小遣いを使わず取っていたお金などです。普通なら銀行口座に入れておき、大人になったときにその銀行通帳を渡すという方が殆どだと思いますが、銀行に預けていても全く増えないのでリスクを取って増やしていこうと思い、投資信託で運用をしてきました。子供達にはこれまでこのことを話してはなかったのですが、良い機会だと思い、すべての内容を話しました。そして、自分たちの現時点の時価を知ってとても驚いていました。

詳細を知ると子供にとって悪影響という考え方もありますが、これからの子供達は不透明な将来に向けて賢い資産運用を選択していく必要がありますのでこのような情報を与えるのは早ければ早い程いいと考えています。

勉強会後は特に娘の方が無駄遣いが減ったような気がします(笑)

